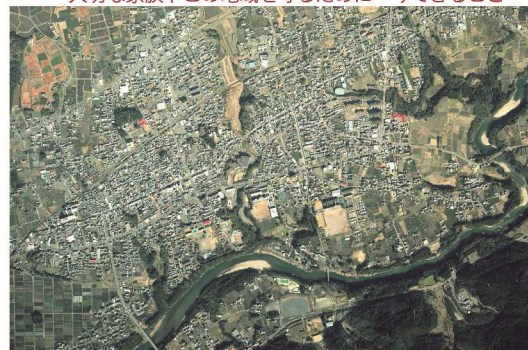


新城地域自治区 地区防災計画

～安全・安心なまち しんしろまちなか～
もしも大地震が発生した場合に備えて
大切な家族やこの地域を守るために 今できること



私たちの住む新城地域自治区（新城小学校区）では、南海トラフの地震が発生した場合、震度6弱から震度6強の揺れが予測されています。この地区防災計画は、みなさんの大切な家族やこの地域を守るために、万が一地震が起きてしまった場合、どのように行動すればよいか学び、考えるきっかけとなればという想いでつくられました。

制作 防災を考える会実行委員会
(新城地域自治区内の防災専門員、防災士、地域協議会委員の有志で組織)
新城市 企画部 新城自治振興事務所 TEL (0536)23-7697
協力 新城市 総務部 防災安全課

我が家の防災メモ

家族と離れ離れになってしまったときの集合場所などを話し合っておきましょう。また、自宅にいる際の避難場所や避難所はどこか、確認しておきましょう。



家族や親戚などの連絡先	
名前	電話番号

家族の医療情報			
名前	かかりつけ医	病名 アレルギー	常備薬の名前

家族が離れ離れになった時の集合場所	
集合場所	集合場所の電話番号

家族の避難場所と避難所	
避難場所	避難所

もしも大地震が起きてしまったら・・・ 地震発生から避難までの行動順序

地震発生！

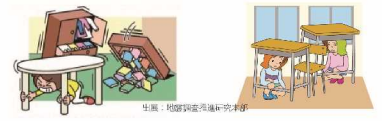
あわてないこと！落ち着くように自分に言い聞かせましょう。

危険な場所から離れましょう
 家の中にいる場合：家具やガラス製の戸や窓などから離れる。
 家の外にいる場合：ブロック塀など倒れそうなものから離れる。建物などから離れる。瓦が落ちる場合がある
 車を運転中の場合：急ブレーキで止まらない。周囲の状況を確認したのち、ハザードランプを点灯させ、車を道路の左側に寄せて停車させる。



揺れが収まるまでは、頭を守りましょう

家の中にいる場合：座布団などで頭を守り、丈夫なテーブルの下へ隠れる。
 家の外にいる場合：持っているカバンなどで頭を防護する。



揺れがおさまってきたら避難準備！

強い余震を感じたら、迷わず自分の身を守りましょう。

火の始末をしましょう
 ・火を使っていた場合は、確実に消火しておく。
 ・ガスの元栓を閉めておく。

電気の始末をしましょう
 ・電化製品のプラグをコンセントから抜いておく。
 ・ブレーカーを落としておく。(自動で落ちる装置もあります)
 ※電気が復旧して通電したときに火災が発生する場合があります。



ガスの元栓を閉める！ コンセント OFF！ ブレーカーを落とす！

避難の準備をしましょう

・室内でも、ガラスが割れている場合があるため靴やスリッパを履くようにする。
 ・家の中と外の被災状況を確認する。(余震に注意！)
 ・外出している家族の安否を確認する。
 ・避難時に持ち出す貴重品や非常持ち出し袋を用意する。

避難する！

できるだけお組単位または隣近所の人と一緒に行動しましょう。

避難場所へ避難しましょう
 ・新城地域自治区内の避難場所は以下の5箇所です

- 1 新城有教館高校 (平成31年3月現在は新城高校)
- 2 新城中学校
- 3 新城小学校
- 4 富永神社広場
- 5 旧消防署広場



※避難場所は、学校のグラウンドなどの屋外の広場で、多くの人が避難できると考えられる場所です。

自宅が被災してしまい家に帰れない場合は…

指定避難所へ避難しましょう
 ・新城地域自治区内の指定避難所は以下の3箇所です。

- 1 新城有教館高校 (平成31年3月現在は新城高校)
- 2 新城中学校
- 3 新城小学校



※指定避難所は、被災して家に戻れない人が一定期間生活する屋内施設です。

覚えておこう 災害用伝言ダイヤル「171」

伝言の録音方法
171にダイヤル
音声ガイダンスが流れる
録音の場合 1
音声ガイダンスにしたがって録音

伝言の再生方法
171にダイヤル
音声ガイダンスが流れる
再生の場合 2
音声ガイダンスにしたがって再生

毎月1日と15日に災害用伝言ダイヤルを体験利用することができます

人的被害への備えとして

阪神・淡路大震災の死因の約77%が、家屋の倒壊や家具などの転倒による圧迫死でした。

家具から身を守ろう！

- し字金具で壁に固定する！重い物は壁に固定する！
- ガラスには飛散防止フィルムをはる！
- 懐中電灯などは手の届く所に置く！
- テレビは金具やチェーンなどで固定する！
- 冷蔵庫などは転倒防止器具で固定する！
- 戸棚の扉にはロック機能を付ける！
- 吊り下げ式蛍光灯はチェーンなどで止める！

チェックリスト

- 家具が倒れたり、落ちてきたりしないように固定してある。
- 家具が倒れても人間がつかされないように配置してある。
- 家具が倒れてもドアがふさがれないように配置してある。
- 出入り口や通路にはなるべく荷物を置いていない。
- ピアノや本棚など重い家具は1階に置いてある。

家族を守るために準備する 家庭の備蓄品をチェックしておこう

- 必ずそろえよう
- 懐中電灯
 - ラジオ
 - ホイッスル
 - 常備薬
 - 飲料水(一人1日3リットルを目安に、できれば10日分くらい)
 - 食料(赤ちゃん、粉ミルクやベビーフード)
 - お金(小銭も用意する)
- なるべくそろえよう
- 携帯電話と充電器
 - メガネ、コンタクトレンズ(保存液)
 - キッチン用ラップ
 - 紙コップと器
 - 下着、着替え
 - 生理用品、紙おむつ
 - 予備の入れ歯
 - 運転免許証や健康保険証のコピー
 - 簡易トイレ
 - ビニールシート
 - ライター、マッチ、固形燃料 など

物置などに入れておこう

- ガスコンロ、カセットガスボンベ
- 毛布
- 飲料水をためるポリタンク
- 寝袋
- 調理器具
- 食器類
- ジャッキ

即席麺・レトルト食品・缶詰などを多めに買って置き、使いながら買い足していく方法(ローリングストック)も有効です。

寝ているときに、地震があった場合に備えて 寝室の家具の配置や最低限の備えをしておこう

寝室に備える防災用品の例

寝室の家具の配置方法

市町村による避難情報の種類とその意味を理解する それぞれの言葉とその意味を覚えておこう

避難準備・高齢者等避難開始
避難に時間をする人(ご高齢の方、障がいのある方(幼児等))とその支援者は避難を開始しましょう。
その他の人は、避難の準備を整えましょう

避難勧告
速やかに避難場所へ避難をしましょう。
外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。

避難指示(緊急)
まだ避難していない人は、緊急に避難場所へ避難をしましょう。
外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。

地震以外の水害や火災などの災害の際にも発信されます。

避難情報の伝達方法(市役所からの発信)

- 1 防災行政無線
 - 2 新城市のホームページ
 - 3 新城市メール配信システム
- ※ 市や消防団などが巡回して直接呼びかけする場合もあります。



避難情報の伝達方法(民間からの発信)

- 1 テレビ
- 2 ラジオ
- 3 インターネット (SNS などから発信される誤った情報に注意！)
- 4 スマホアプリ

避難計画を策定します！

これから各行政区の自主防災会において、区民のみなさんが安全に避難することができるよう、避難計画について考えていきます。